

&TENRYO(あんどてんりょう)実行委員会

～令和6年11月26日(火)訪問～ 【日田市】



県西部地域(日田市、九重町、玖珠町)は、日本酒や焼酎、梅酒、ビール等の様々な酒類が製造されています。しかし、各酒造会社がそれぞれ自社のPRを行っているという状況で、地域としてまとまった活動は行っていませんでした。そこで、令和5年に地域の酒造会社等9社が連携して「&TENRYO実行委員会」を設立し、県西部地域全体の酒文化の振興や観光客の誘致に取り組む活動を始めました。

懇談では、団体設立までの経緯をお聞きしたほか、「マイナビ ツール・ド・九州大分ステージ」に合わせた観光イベントの実施や、アメリカのバーテンダーを招待し、焼酎を使用したジャパニーズカクテルの勉強会を開催するといった各社のインバウンド観光客誘致への取組等をお伺いしました。また、県西部地域のおいしいお酒と米が生まれる風土を発信して観光誘客に取り組みたいとの展望や、県産酒の海外へのPR活動や酒蔵巡りなど酒類をテーマにした観光戦略等についても要望やご提言をいただきました。

それぞれ歴史のある酒造各社が、市町の枠を越えて地域の活性化に尽力いただいていることに感謝を申し上げ、引き続き観光客誘致などの取組にご協力いただきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」